

1 主題名 誰に対しても思いやりの心を B 親切, 思いやり

2 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

思いやりとは、相手に対してよかれと思う気持ちを向けることである。具体的には、相手の立場や気持ちを考えたり想像したりして、励ましや援助をすることである。

高学年の児童は、自他を客観的に見たり、相手の置かれている状況を自分に置き換えて想像したりすることができるようになる。活動範囲が広がり、多様な人々と接する機会も増え、自分と関係の深い人には親切にする姿が多く見られるようになる。人間関係の深さの違いや意見の相違を乗り越え、全ての人に、相手の立場に立った思いやりの心を向けるよさや大切さについて、考え方や感じ方を深められるようにしたい。

(2) 児童の実態について

(実態調査 令和3年6月4日 26名)

質問「周りに人に思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にしている。」			
とてもあてはまる	あてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
7人	13人	6人	0人

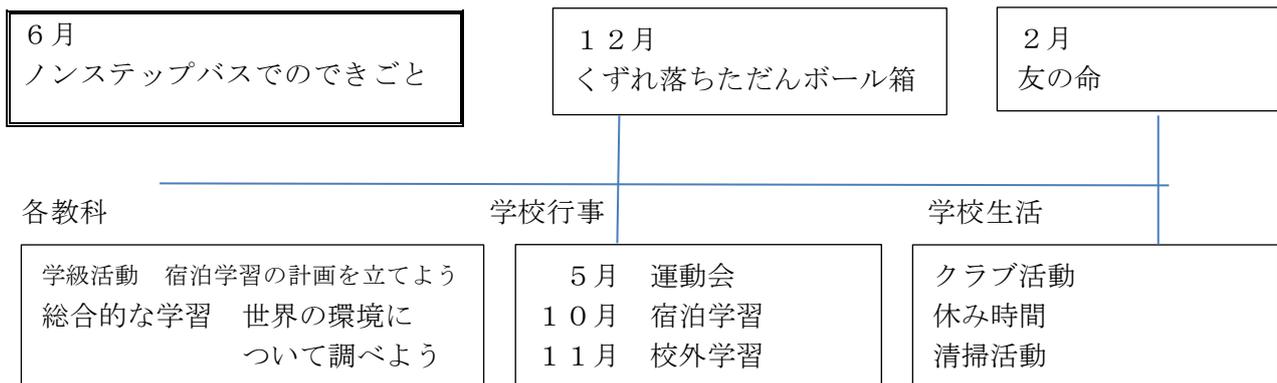
学級全体の約8割の児童が「とてもあてはまる」もしくは「あてはまる」と回答している。児童の多くは普段の生活の中において「思いやりや親切」ということを意識している様子である。その反面、2割の児童は「あまりあてはまらない」と回答している。友達や家族などのかかわりの中で自分の言動について課題を感じている様子も見られる。日頃の児童の様子を見ていると、一人ひとりには明るさや優しさ、思いやりの気持ちを感じる言動は見られる。しかし、グループや学級といった集団になると自分自身の時間的、精神的な余裕、相手との関係性、置かれた状況などによって影響を受け、自己中心的な言動をとっている場面を見かける。上級生や同学年の友達に対しては、相手の立場を考えて行動するという意識や態度は十分に育っていないと感じる。その反面、縦割り班遊びや体力テストの手伝いといった活動では、下級生に優しい言葉で話しかけたり、相手の言葉に耳を傾けて行動したりすることができ、自分が上級生となる立場では、思いやりのある親切な行動を自然ととることができている。

(3) 教材について (教材名「ノンステップバスのできごと」出典「東京書籍」)

ノンステップバスに乗った和也は、途中で車椅子の人が乗車することを知らず、時間を気にしていたため、あまりよい気持ちがしない。しかし、周りの乗客は車椅子の人を手伝い、優しく声をかける。それを見た和也は自分の思いを振り返るという内容である。

本教材は人権教育の教材としても活用できる。障がい者だから親切にするのではなく、困っている、助けを必要としているから親切にするのである。また、相手の立場に立つこと、相手の思いを推し量ること、関係が深くない人に対しても親切にすることの大切さについても考えることができる。いじめを生まない心を育てるために深く考えることが必要な内容である。

3 関連



4 本時の指導

(1) ねらい

相手の立場や気持ちを考えて、誰に対しても親切にしようとする心情を育てる。

(2) 準備・資料

・挿絵 ・ワークシート ・みんなの道德

(3) 展開

☆根拠や理由を明確にして自分の思いや考えを表現するための手立て

主な活動と発問	予想される児童の反応	支援の手立てと評価
<p>1 見知らぬ人に親切にされた経験を思い起こす。</p> <p>○知らない人に親切にされたことはありますか。</p> <p>○ノンステップバスを知っていますか。</p>	<p>・道を迷っているときに声をかけてくれた。</p> <p>・落としたものを拾ってくれた。</p> <p>・聞いたことがあるけど、よくわからない。</p>	<p>・体験を想起し、すべての人に思いやりの気持ちを広げられるようにする。</p> <p>・教材への理解を深めるために、ノンステップバスについて説明する。</p>
<p>2 教材「ノンステップバスのできごと」を読んで、話し合う。</p> <p>○3人の高校生の言葉に、和也はどんな思いでうなずいていたのでしょうか。</p> <p>○車いすのお兄さんとおじさんの会話をじっと聞いていた和也は、自分を振り返って、どのようなことを考えたのでしょうか。</p> <p>・自分の考えをワークシートに書き、隣と伝え合う。</p> <p>・全体で発表し、共有する。</p>	<p>・祖母が待っているのが心配だ。</p> <p>・時間がかかってしまうのは感だな。</p> <p>・なぜ、車椅子の人は特別扱いなんだ。</p> <p>・自分のことしか考えていなかった。勝手だった。</p> <p>・誰もがバスに乗るのは「あたりまえ」なのは本当だ。</p> <p>・車いすの人の気持ちを考えていなかった。</p> <p>・このおじさんはすごい。心が温かく、広くて大きい。</p>	<p>・挿絵を提示し、内容を捉えやすくする。</p> <p>☆ワークシート活用し、考えた理由や根拠も書くように支援する。</p> <p>・誰にでもあるみにくい心を共感的にとらえさせる。</p> <p>・机間指導で、ねらいとする価値に深まりをもたせるために、「おじさんの言葉が和也の胸に響いたのはどうしてかな」と補助発問を用意しておく。</p> <p>☆ワークシートに書くことで自信をもって考えを発表できるようにする。</p>
<p>3 自分自身を振り返る。</p> <p>○誰かが、見ず知らずの人に親切にしているのを、あなたは見たことがありますか。それを見たときどう思いましたか。</p> <p>・体験したことをワークシートに書く。</p> <p>・全体で発表し、共有する。</p>	<p>・震災のときのボランティア活動を見た。とても大変そうだったけれども、困っている人を助けようとしているのに感動した。</p> <p>・お年寄りや障がい者への手助けをする人を見たことがある。思いやりのある人なんだなあと思った。</p>	<div data-bbox="1023 1406 1378 1621" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>自己をみつめ言動を振り返り、今後の生活につなげようとすることができたか。 (発表・ワークシート)</p> </div> <p>・直接町中などで見かけた体験だけでなく、テレビや新聞で知った間接体験でもよいと伝える。</p>
<p>4 詩を読む。</p> <p>・詩「行為の意味」（宮澤章二）を読んで考える。</p>	<p>・「こころ」は見えないけど、「こころづかい」は見えるんだな。</p>	<p>・思いやりの気持ちを実際に行動にしていく大切さについて、考えるようにする。</p>